

委任状

私（委任者氏名）は、次の者を代理人と定め、下記の離婚給付契約等について、公正証書の作成を囑託するために必要な権限を委任します。

代理人 住所 _____

職業 _____ 氏名 _____

記

第1 当事者

妻（甲） _____ 夫（乙） _____

第2 契約事項

甲と乙は、離婚することに合意し、その届出をするに際して、令和 年 月 日、子の監護及び離婚給付に関し、次のとおり契約した。なお、離婚届は、（甲・乙）において速やかに行う。

甲と乙は、下記1のとおり定めて令和 年 月 日協議離婚の届出をし、令和 年 月 日次のとおり合意した。

1 甲乙間に生まれた子の親権者を（母・父）である（甲・乙）と定め、（甲・乙）はこれを引き取り、監護養育する。

（続柄）

（氏名）

（生年月日）

_____ 平成 年 月 日

_____ 平成 年 月 日

_____ 平成 年 月 日

_____ 平成 年 月 日

2 （乙・甲）は（甲・乙）に対し、上記子らの養育費として、一人当たり月額金 _____ 円也を、令和 年 月 日から（令和 年 月 日、それぞれが満 _____ 年に達する月、高等学校もしくは専門学校を卒業する月、大学を卒業する月）まで、毎月日までに（持参払い、送金、振り込み）の方法で支払う。

3 甲と乙は、将来、上記子の病気、進学等で特別の出費を必要としたときは、その負担について、誠実に協議し、円満に解決する。

4 甲と乙は、将来、物価の変動その他の事情の変更があったときは、養育費の額の増減について、誠実に協議し、円満に解決する。

5 甲と乙は、前記養育費の支払期間中、それぞれ住所、勤務先等を変更した場合は、お互

いが速やかに変更後の住所、勤務先の名称、所在地及び電話番号を相手方に文書等で通知する。

6 (甲・乙)は、(乙・甲)が前記子らと面接交渉することを認める。面接の具体的な日時、場所、方法等については、子の意思を最大限に尊重し、子の福祉に十分配慮して、甲乙が協議して決める。

7 (乙・甲)は、(甲・乙)に対し、離婚に伴う(□財産分与、□慰謝料)として、金 円也を次のとおり、(□持参払い、□送金、□振り込み)の方法で支払う。

□(一括)令和 年 月 日限り

□(分割)令和 年 月 日から令和 年 月 日まで毎月 日限り
金 円也

8 (前条の支払いが分割払いの場合)

次の事項に該当するときは、(乙・甲)は、当然に前記7の分割払いの期限の利益を失い、前条の総額から既払金を控除した残額を直ちに支払う。

□前条の分割支払いを か月分以上怠ったとき

□他の債務について強制執行を受けたとき

□破産・民事再生手続の申立を受け、又は自ら申し立てたとき

9 (乙・甲)は、(甲・乙)に対し、離婚に伴う財産分与として、次の物件を令和 年 月 日までに引き渡す。(不動産の場合は、移転登記完了の上、同日までに引き渡す。)(財産分与の対象となる物件の表示)

10 その他の特約事項

11 保証人は、この契約に基づき(乙・甲)が(甲・乙)に対して負担する債務を保証し、(乙・甲)と連帯して支払う。

12 (乙・甲)及び保証人は、本契約による金銭債務を履行しないときは、直ちに強制執行に服する。

13 甲と乙は、本件離婚に関し、本契約に定めるほか、財産分与、慰謝料その他名義のいかんを問わず、財産上の請求をしない。

令和 年 月 日

委任者(甲・乙)

住所 _____

職業 _____ 氏名 _____ ㊟(実印)

委任者(連帯保証人)

住所 _____

職業 _____ 氏名 _____ ㊟(実印)